

スクールトピックス



贈呈式に出席した長瀬小6年生の児童ら



花の苗の贈呈を受けた吾妻小4、5年生の児童ら

思いやりの心を養う 吾妻小と長瀬小で「人権の花贈呈」

子どもたちが協力して花を育てることで命の大切さや思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深めることを目的とした「人権の花運動」花の苗贈呈式は6月12日に吾妻小学校で、6月13日に長瀬小学校で行われました。「人権の花運動」は、昭和57年度から主に小学生を対象として全国で実施されています。

花の苗贈呈式では、人権擁護委員の長尾幸子さんと佐藤秀一さんが両校の児童代表者にマリーゴールドやサルビアなどの花の苗、計120本を手渡しました。

吾妻小学校では、児童を代表して4年生の遠藤優珠さんが「頂いた花を大切に、命の大切さや思いやりの気持ちを大切にします」とあいさつ。長瀬小学校では、児童を代表して6年生の高橋優奈さんが「私は命と人権のことを思い出しながら、花を大切に育てます」とあいさつを述べました。

笑顔でこんにちは



家族みんなでハイ、チーズ!

紗彩ちゃんの名前には「彩り豊かな明るい人生にしてほしい」というパパとママの願いが込められています。

古川 紗彩 ちゃん

平成28年10月生まれ
～半坂
元春さん・和歌子さんご夫妻の次女

ダンスが大好きな紗彩ちゃん。姉の凜乙ちゃんがダンスグループに所属しているため、紗彩ちゃんもよく練習について行きます。「みんなの練習に混ざって一緒に踊りたがるんです。紗彩がグループの一員として踊れるようになるのは、もう少し大きくなってからかな」とママの和歌子さんは話します。

普段は小学生の兄や姉、近所の子どもたちと遊ぶことが多い紗彩ちゃん。年上に囲まれているせいか、最近の口癖は「私お姉ちゃんだから」と紗彩ちゃんは胸を張ります。

和歌子さんは「みんなを和ませてくれる優しい人になってほしいです」と話します。パパの元春さんは「明るく楽しく、元気に育ってほしいです」と話し、紗彩ちゃんを優しく見つめました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

ホットニュース



野口英世生家主屋の登録プレート



プレートの伝達を受ける八子理事長(中央)

「野口英世生家主屋」が 国の登録有形文化財に

世界的医学者野口英世博士の生家「野口英世生家主屋」が平成31年3月29日に官報に告示され、国の登録有形文化財(建造物)として登録されました。

登録に伴う国登録有形文化財プレートの伝達式は6月21日、野口英世記念館の野口英世生家主屋前で行われ、古川一昭生涯学習課長が八子弥寿男野口英世記念会理事長に登録プレートを伝達しました。

伝達式では、古川課長が「これまで野口博士の生家の保存に尽力されてきた関係者の皆さんに感謝します。登録をきっかけに、さらなる地域活性化や観光振興に期待します」とあいさつ。八子理事長が「博士の生家は約400年前に建てられ、何度かの改修を経て現在に至っており、文化財登録は先人たちのおかげです。今後も大切に保存し、野口博士の顕彰に努めます」とあいさつを述べました。

和みいな 企画展



漆を使ったさまざまな作品が展示された



来館者に作品を紹介する角田さん(左)

「和みいな」5周年記念 「角田純一漆芸展」を開催

「和みいな」5周年記念「角田純一漆芸展」は6月4日から16日まで、和みいなで開催しました。

和みいな内の展示会場には、北塩原に工房を持つ漆芸家の角田純一さん、角田さんの父で会津漆器職人の弘司さん、祖父の一司さんの作品約40点が並べられ、来館者が会津の風景などが描かれた漆絵などの作品を楽しみました。

また、6月9、15、16の3日間は蒔絵体験が行われました。

角田さんは会津若松市出身。平成10年に第30回日展で初入選すると以降16回入選。平成18年には第14回漆の美展で林野庁長官賞を受賞するなど、数々の美術展などで受賞歴を持っています。

角田さんは「漆でも絵画のような表現をすることができません。漆芸の魅力に触れてもらえれば」と話しました。